



# イフジ産業の鶏卵相場予想

## 2023年 12月 の鶏卵相場予想

### 250円

(全農東京相場LM加重平均)

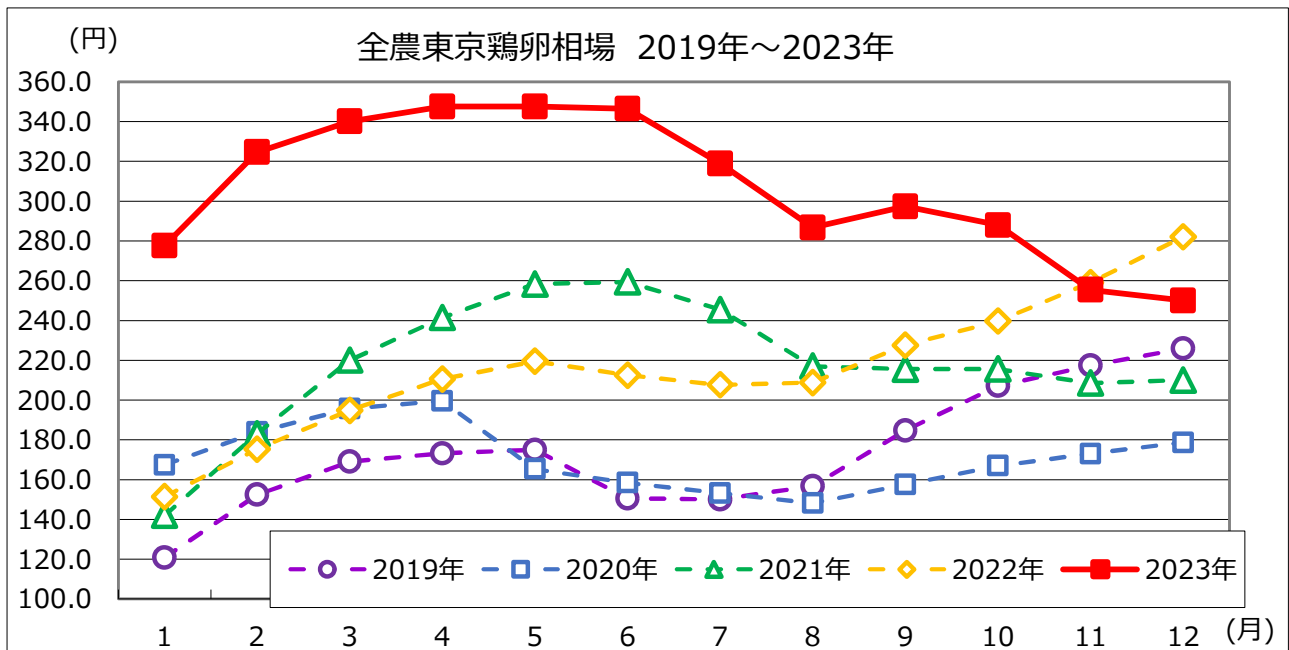
11月の相場ですが、前月の最終値を引き継ぎ、Lサイズ275円・Mサイズ265円でスタートしました。その後、11月6日に両サイズ10円、11月13日にLサイズ10円、11月16日に両サイズ5円、11月20日にLサイズ5円値下がりしました。(2023年11月27日時点のLM加重平均は247.5円、月間LM加重平均は255.44円)

供給面では、気温低下によって産卵率・卵重ともに安定しており、鳥インフルエンザからの回復も進むなかで産地在庫は潤沢となっている模様です。卵重の回復により大玉生産が増加したことでサイズ間調整も見受けられます。鶏卵相場の西高東低が示す通り、特に東日本における生産量が増加しているように思います。一方の需要面では、テーブルエッグでは気温の低下によって鍋物需要などの増加はありますが、供給量に見合った消費とはなっていないように見受けられます。加工筋ではレシピ変更や値上げの影響もあり、以前と変わらず軟調な推移が続いています。

さて、12月の相場予想ですが、供給面では引き続き堅調な生産量で推移することが考えられます。一方の需要面ですが、気温の更なる低下によって、引き続き鍋物・おでんなどの需要は増加していくものと思われれます。また、外食や加工筋では年末商戦・クリスマスなどによる特需が発生するため、季節性での一定の需要増加は考えられると思います。しかしながら、先の説明でもある通りレシピ変更や値上げの影響は継続する見通しのため、例年ほどの需要推移とはならない可能性もあります。

12月の相場予想ですが、上記の通り生産量は堅調な推移となっていることから、最繁忙期であるものの、月間を通して保合傾向が若干程度の上昇に留まるのではないかと推察いたします。月間LM加重平均は250円付近と予想いたします。

なお、今シーズンの国内家禽での鳥インフルエンザは2件(佐賀県:約4万羽、茨城県:約7万羽 ※11月27日時点)発生しています。野鳥での発生は10月頭より続いておりましたが、今後は家禽での発生が拡大する恐れもあり、その動向次第で状況は一変する可能性があります。



※2023年11月の相場は11月27日までの平均値。2023年12月は予想値。

※予想は当社独自のものであり、あくまで予想です。

※この情報に関するお問い合わせ等はご遠慮ください。

Egg ×  
Something =

「タマゴテック」でライフスタイルの殻を破る

